

3年 学年だよ!



令和元年11月26日
大和市立つきみ野中学校
第13号

最後の三者面談が始まります

12月2日(月)より、最後の三者面談が始まります。受験校を決定し、受験への対策や準備を進めましょう。私立の受験校をどうするか迷っている人も、この面談が最終確認の場になります。しっかりお家の人と話し合っ、面談で担任の先生に伝えられる準備をしておきましょう。

進路希望調査の〆切：11/27(水) 明日



お知らせ

保護者の皆様へ

▶本日仮成績表を配付しました。内容をご確認の上、お子様と受験校の確認をお願いします。最後の進路希望調査は明日が〆切です。来週の三者面談にて学校とご家庭の合意を経て、私立の受験校決定となります。 よろしくお願ひいたします。

▶来週の三者面談期間中に、受験に向けた模擬面接が始まります。先週、面接シートの下書きが完成し、入室の仕方やお辞儀の仕方、受け答えの仕方などの作法も練習しています。学校でも担任による指導、添削はしておりますが、保護者の方にも面接シートの内容を見て頂いたり、面接練習のアドバイス等して頂けると、お子様もさらに安心できるかと思ひます。よろしくお願ひします。

▶卒業アルバムの代金について、給食費・補助教材費と合わせて銀行引き落としさせていただきます。内訳および引き落とし日は以下の通りです。口座のご準備をお願ひいたします。

給食費(1月分)	4,740円
補助教材費	1,150円
卒業アルバム代	4,277円
手数料	110円

計 10,277円

引き落とし日 1月6日(月)

文化発表会を終えて

★前回、紙面の関係で掲載できなかった1～4組の作文です。



最高の合唱コンクール

1組 生徒1さん

今年の合唱コンクールも無事に終わり、1組の目標としていた最優秀賞を取ることはできませんでした。ですが、私は優秀賞よりも大切なものをクラスとして取れたと思います。それは仲間との協力の大切さ、団結力を高められたということです。ソプラノ・アルト・男声。それぞれの良さを合唱コンクール当日に出すことができました。それも、クラスでの協力がなければ成し遂げられなかったと思います。

合唱コンクールの練習を始めた頃、クラスは全然団結していませんでした。歌を歌っている最中に話している人がいたり、歌練を始めようとしない人が多かったりと、クラスで決めた目標に沿っていない人が多かったです。そんな、まともに練習をしていなかったある日、担任の先生に言われました。

「本気でやらなくていいのか。」

私の心にこの言葉が響きました。この言葉を聞いて、私は合唱への意識を改めようと思いました。そして、この日からだんだんとクラス全体の意識が変わっていき、合唱コンクール当日になりました。リハーサルでの反省を生かし、緊張せず、笑顔で歌いきることができました。目標は達成できませんでしたが、感動する歌をみんなで創りあげることができました。思い出に残る最高の合唱コンクールでした。受験では、合唱コンクールでの反省を生かし、目標も達成できるようにしていこうと思いました。

最後で最高の合唱コンクール

2組 生徒2さん

最後の合唱コンクール。僕は合唱コンクールで歌う曲が決まっただけでワクワクしていませんでした。個人的に歌を歌うことが好きなのもありますが、自分の歌ってみたいと思っていた曲になり、男女のハモリがどんなふうになるか楽しみだったのが一番の理由です。

曲が決まっただけからはじめの頃は、家でその曲をきいたりしておぼえていたのですが、楽譜をもらった時、自分が思っていた以上に男子パートがむずかしく、特に速さやタイミングがとてもむずか

しくて、全然うまくいきませんでした。そして、長い時間練習して10日くらいから女子と合わせ、はじめて歌ったのですが、当然ぐちゃぐちゃになり、特に最後のハモりがうまくないと感じました。僕はテノールパートでしたが、上の段で歌っているテノールが2人だけだったので、右に女子、左にバスがめちゃくちゃ聞こえる所でうたっていたのですが、ハモりがまったくできてなくて少しびっくりしました。その所を頭の中に入れ、また1週間練習すると、みちがえたように、強弱ができて、最後もハモりができていて、すごくじ〜んとするような曲が歌えるようになりました。

合唱コン当日、朝から緊張していて、のどをこわしていないか、声が出ているか、とても心配していました。他のクラスをきいている時間は短く感じ、三年生最後のクラスの二組の番がきました。歌っている時もとてもあっという間でした。いろんなハプニングがあったけど、他のクラスと比べても真ん中できいているからこそ、二組のハモりが一番きれいだと歌いながら感じました。

結果はとても残念でした。けれど僕は、最後で悲しむことだけが大切だとは思いません。合唱コンを通して学んだことはたくさんあります。そして何より二組全体でまとまることができたと思います。僕はまだそれを発揮できる機会はあるし、無駄にしてはいけないと思います。だからこそ、その経験をきちんと利用し、ものごとに全力で向き合う姿勢を忘れずに行動していきたいです。

“悔しくない”合唱

3組 生徒3さん

僕は特に実行委員・係を凄いと感じました。何故かというところの前の学校で修学旅行実行委員をやっていたので、裏方の気持ちが分かるからです。なので、修学旅行や教科の新聞配置などの作品掲示、体育館の床にマットを敷く・机や椅子など物の移動・文化発表会テーマパネルを飾るなどの仕事をしている生徒さん方に感動しました。

また、合唱コンクールを裏で支えてくれている校長先生・教頭先生・学年主任・担任・副担任・学年や事務の先生方あってこそその文化発表会だとも思います。色々な先生方の影の努力、特に音楽の先生や学年主任・副担任の先生方は付きっきりで僕達の合唱練習を見守ってくださいました。本当に有難うございます。

そして忘れてはならないのが、指揮・伴奏の方々の頑張りです。僕のクラスでは、海老塚さんが音楽室に一人残って指揮の練習を、またピアノの伊五澤さんの病気が発覚した時、多数の方が手を差し伸べ、ピアノの練習をクラスのために頑張ってくれた人が大勢いました。そんな方々の支えがあって、文化発表会・合唱コンクールがあるのだと思いました。そんな方々への一番の恩返しは、合唱コンクールに全力で向き合うことだと僕は思います。だからこそ僕は、練習で手をぬいた覚えは一度もありません。なので、全力で向き合っただけで一位が獲れなかった事に対し、1ミリも悔しいと

思いません。そして全力で合唱コンクールに向き合っていたのは僕だけでなく、クラス全員だとハッキリと言えます。

「ありがとう」

4組 生徒4さん

合唱コンクールの前日。私は不安で心がおしつぶされそうだった。自信を持って弾けるように何回も何回も練習した。たくさんの不安をかかえながら当日を迎え、ただただ「大丈夫。大丈夫。」と自分に言い聞かせることしかできなかった。そしていよいよ4組の出番。私は不安のままステージに上がった。そしてピアノの所へと。私は、ピアノのオーディションの時のことを思い出した。私のほかにも、3人の立候補者がいて、選ばれなかった時はとてもくやしかったと思う。私だったらくやしい。でも、それでも、文句ひとつ言わないで私の伴奏を支えてくれた。だから、ここでこうして、ピアノを弾けるのは、決してあたりまえじゃない。私は絶対に、三人の分まで気持ちを込めて弾こうと思った。304の歌声は、今まで練習してきた中で一番上手だった。そしてきれいだった。ピアノを弾いている時、私はそう思った。

そしてついに結果発表。

「優秀賞・・・時の中で。」

私はうれしさのあまり飛びはねてしまった。そして感動した。

私は、304のみんながいなければここまで来られなかったと思う。不安でおしつぶされそうだった私を安心に変えてくれた304、常に歌のことを考え、先頭に立ってがんばってくれたパートリーダー、そしてみんなをまとめてくれた指揮者。本当にありがとう。304で取った優秀賞は、一生忘れない。

